

講演会「2017年の欧州経済 - 着実な成長は期待できるのか」

期 間：2017年6月19日(月)

場 所：経団連会館

来 賓：セルヴァース・デローズ 欧州委員会 経済・金融総局 副総局長

経済広報センターは6月19日、欧州委員会でマクロ経済政策を担当するセルヴァース・デローズ経済・金融総局副総局長を招き、欧州経済の現状と見通し等に関する講演会を開催した。デローズ氏は、欧州経済の先行きに自信を示したうえで、保護主義的動きを抑制する観点からも、日EU経済連携協定(EPA)締結の重要性を強調した。

また、「欧州は世界金融危機以降の停滞を脱し、2017年にはEU全加盟国において成長が見込める」と発言。そのうえで、高齢化、低い生産性の伸び、高失業率などの構造問題ならびに債務増大、貧富の差の拡大といった金融危機の「負の遺産」を挙げ、「これらの諸課題を解決すべく、欧州投資銀行(EIB)との協力で欧州戦略投資基金(EFSI)を創設するなど、实体经济の活性化に積極的に取り組んでいる」と説明した。

一方、英国のEU離脱問題については、「問題の複雑さと、英国経済とEU経済の統合度合いを考えれば、まずは秩序ある離脱に向けた原則を確認し、そのうえで、将来の関係を定義づけたい」と発言した。



日EU・EPAについては、「両者の経済が回復基調にある今こそ、この野心的で包括的な協定に合意する、またとないチャンスである。この合意は、グローバル経済全体の観点からも、重要なランドマークとなり得る」と強調した。

以 上